



褐色細胞腫を考える会の皆様へ MIBG 治療の治験のご案内

現在、MIBG 治療が日本で薬事承認されるように治験が行われています。
治験への参加を希望される方は、裏面の案内に従って主治医の先生にご相談ください。

【対象となる方】

- ① 悪性の褐色細胞腫またはパラガングリオーマと診断されている
- ② CT 検査（又は MRI 検査）の画像で、腫瘍（1.5cm 以上）が 1 つ以上ある
- ③ ②の腫瘍のどれか 1 つ以上で、 ^{123}I -MIBG シンチ（核医学検査）が陽性である
- ④ 尿中カテコールアミンのいずれかが、基準値上限の 3 倍以上である
アドレナリン、ノルアドレナリン、メタネフリン、ノルメタネフリン
- ⑤ これまでに MIBG 治療を一度も受けたことがない
- ⑥ 治験への参加登録前 8 週以内に、手術、化学療法（CVD 療法）、肝臓への転移に対する肝動脈塞栓療法、骨転移に対する薬物療法、又は放射線外照射療法を受けていない

※この他にも参加条件があります。

【治験を実施している病院】

金沢大学附属病院、群馬大学医学部附属病院、北海道大学病院、鹿児島大学病院

【治験参加の受付期間】

現在～2019 年 4 月末

【治験の通院スケジュール】

- ・ 治験参加同意から治験終了までの期間は、約7ヶ月です。
- ・ 必要な通院は約10回です。
 - ① 事前検査（入院）
 - ② MIBG治療（入院）： ^{131}I -MIBG点滴後に1週間ほど専用の放射線治療病室に入院
 - ③ MIBG治療後検査：2、4、6、8、12（入院）、16、20、24（入院）週後

【治験に参加したいと思ったら】

主治医の先生に、MIBG 治療の治験に参加したいこと、治療を受けたい病院を伝えてください。

主治医の先生に、治験の詳細な参加条件を確認していただき、治験に参加しても問題ないか確認していただきます。

※表面の記載以外にも条件があるため、治験に参加いただけない場合もあります。

主治医の先生から、治験を実施している病院の先生に連絡していただきます。

<連絡先>

金沢大学附属病院 核医学診療科 若林先生

群馬大学医学部附属病院 核医学科 樋口先生

北海道大学病院 核医学診療科 志賀先生

鹿児島大学病院 放射線科 神宮司先生

治験を実施している病院を受診し、治験の詳細な説明を受けて、実際に治験に参加するか否かを決めます。

【治験で必要となる費用】

- ・ 治験参加への同意後、治験のための検査、治療の薬剤代、入院費の一部（食事も含む）は、治験を実施している製薬会社が負担します。
- ・ 交通費は自己負担になります。ただし、1回の来院ごとに7,000円が負担軽減費として支給されます（入院の場合は入退院を1回と数えます）。

